

ご多用の中、お子様のスマホに関する調査にご協力いただき、ありがとうございました。
調査結果は、以下のようになりました。

お子様のスマホに関する調査結果（豊栄小学校）

調査期間 令和4年10月4日～10日

回答数 135 / 172（1年27 / 35、2年25 / 30、3年18 / 20、
4年19 / 27、5年29 / 35、6年17 / 25）（分母は在籍数）

全体回答率78.4%

3. お子様は1日にスマホを使用する平均時間はどのくらいですか？

[詳細](#)

● 使用しない	62
● 30分未満	9
● 30分～1時間	23
● 1時間～2時間	28
● 2時間以上	13



4. お子様はスマホをどのように使っているか知っていますか？

[詳細](#)

● 内容や相手（対象）などまで詳し...	31
● 何をしているか程度は知っている	42
● 何をしているかわからない	0



5. お子様はスマホで1番時間を使うのはどんなことですか（だと思いますか）

[詳細](#)

● 動画視聴	56
● ゲーム	11
● SNSやライン、メール等	3
● その他	3



6. お子様が使用するスマホにはフィルタリングがかかっていますか

[詳細](#)

- かかっている 31
- かかっていない 42



7. お子様は自分用のスマホを持っていますか

[詳細](#)

- 持っていない 115
- 持っている 20



8. スマホの使用に関して家庭での約束がありますか

[詳細](#)

- ない 80
- ある 55



8 スマホ使用に関する家庭での約束(表中の数字は同様回答数)

時間を決めている (多数)	食事中は使用しない 5
使用する場所を制限している (親がいるリビングなど 3)	条件をクリアしたら使用可 (宿題終了 2・風呂掃除)
使用理由を明確にして、両親の目の届く場 所で使用する	課金しない 5 料金がかかるものは見ない
友達の前で出さない	許可を得てから使用する 4
フィルタを使用する 2	姿勢
使用する時声かけする	親が終わりと言ったら、終わりにする

変な動画・サイトをみない	親と一緒に時だけ使用可能 2
動画視聴に関しては内容など	いつでも親が内容を見て良い 7
保管場所の限定	SNS の禁止 2
目に悪いので画面を見すぎない	勝手にアプリを入れない
ラインのやり取りは、その都度チェックする。誰かを傷付ける内容は書かない。	親の携帯から使用時間の設定やロックが出来るので、普段はロックをしている状態で使いたい時だけ解除をしている
ネットで知り合った人に個人情報を言わない	

9 現在、子どものスマホのことで困っていること(表中の数字は同様回答数)

ずっと使ってしまう 2、約束の使用時間を守れない 5、声をかけてもなかなかやめない、ラインが終わらない、寝る時も見ている、注意しない限りずっと見ている、動画を見始めると、次の行動になかなか移せない、寝る直前まで動画を見る
時間を守る約束だが、「そろそろ止めよう」と声かけすると怒り出す 2
注意するとすぐに切り上げるが、操作時間が長い 特に休日
自分のスマホ、タブレットを欲しがっている
動画を見る時間を今よりも短くしたい、使用時間を減らしたい
約束の時間を守らず、他のことへの関心や集中力が低下したので、スマホは解約した 2
視力低下 3、姿勢が悪い
言葉遣いが悪くなった
タブレットを使用して友達と LINE をしていたが、トラブルになったので辞めさせた
過去にラインによるトラブルがあったため、その子達と距離を置き現在トラブルはない トラブル防止のため、お友達には親が管理している事を遠回しに伝えるようにしている
よくわからずに操作してしまう
今はスマホを持たせていないため、困っていることはないが、いずれ欲しいと言われたときに周りの友達の保有率やどのような約束を各家庭でしているのか参考までに知りたい
子ども専用のスマホを持たせるかどうか
友達がみんな持っているから自分も欲しいと言っています。小学生にスマホが必要でしょうか？スマホで何をしたいのかを訪ねると「LINE トークがやりたい」と言います。持っていないと、仲間に入れないと言っています。話があるなら学校でしてくれば済むことなので必要性がないことを教えているのですが、納得してくれません。「欲しい」の一点張りです。それでも小学生のうちには持たせるつもりはないというのが両親の考えです。
使用時間の制限は本人に任せている
依存してそうで心配

結果より

1日の使用平均時間は1時間を超える児童が4分の1以上という調査結果でした。今回は「スマホ」についての調査でしたが、「ゲーム」と合わせ、お子様の時間の使い方をしっかり管理し、生活のリズムを整えることが大切です。**学習時間、リアルな体験ができる機会、家族とのコミュニケーションの時間、睡眠時間などをしっかり確保**できるよう、スマホやゲームについて制限をすることも必要です。



スマホは便利な機能が多い反面、トラブルの原因になる危険性もあります。調査の結果から、お子様がどんなスマホを使用しているか、気を付けていらっしゃる方が多いことが感じられました。しかし、子どものスマホ使用について「何をしているか程度は知っている。」では、心配な面が残ります。子どものことを信頼することも大切ですが、**「不適切な使用をしているかもしれない」と警戒**することを、忘れてはいけません。ゲームの中には子どもには刺激の強すぎるものもありますし、親の知らない間に相手を傷つける発信をしていることもよくある話です。お子様がどのようにスマホを使用しているのかを把握するため**「リビングでの使用のみ」などの約束を決めているのは、とても良いこと**だと思います。また、スマホ使用からのトラブルについて、大人もしっかりと知識を得ておくことも大切です。学校でも「情報モラル」について学習しますが、お子様の年齢に応じて、ご家庭でもぜひ一緒に考える機会を持っていただきたいと思います。



自分のスマートフォンを持っている児童は全体の15%、約7人に1人の割合でした。6年生でも回答数17人中自分のスマホを持っているのは4人でした。子どもに「『みんな』が持っているから買って!」と言われても、「**みんなは持っていない**」と堂々と言い返せることがはっきりしました。

「困っていること」の記載について（対応のヒント）

長時間使用、約束を決めているのに守れない、注意すると逆に怒り出すなど、ご家庭で苦労されていることがわかります。私なりに対応を考えてみました。

「長時間使用」について

- 1 使用時間の**約束を決めて**、目につきやすいところに**書いておく**。
ルールをはっきりさせること、そしてそれを「視覚化」することで効果的な場合があります。
- 2 終わりにしてほしい時間の**前に**、「**そろそろ終わりにして!**」と声をかける。
区切りの悪いところでいきなり「終わりにしなさい」と言われるといい気持ちがし



ないことは理解できます。「5分以内に終わりにしてよ」と声をかけておけば、お互いに気持ちよく過ごせるかもしれません。

3 「約束が守れないときの約束」を決めておく

スマホに使用について約束があっても、約束が守れなかったときにどうするかまでは決めていないご家庭がほとんどではないでしょうか。約束が守れなかった場合について親子で話し合い、合意の上で「3日間使用禁止」などと事前に決めておきます。「約束が守れないときの約束」は、なるべく実行しなくてすむように警告の声をかけましょう。何度警告しても約束を守れなかったときは、「約束が守れないときの約束」を実行にうつします。「3日間使用禁止」と決めたら、「もう許して」と言われても、1日で終わりにしてはいけませんし、どうせまた約束を破るだろうからと1週間に延ばすことも良くないと思います。決めたとおりにする、つまり、「保護者も約束を守る」ことが大切だと思います。「この次、守れなかったら今度は〇〇だよ」と約束を変えていくのも効果的かもしれません。



「いつ持たせるか」

子どもは「買って！」保護者は「持たせたくない」が、各ご家庭の実情ではないでしょうか。（私個人としては、小学生にスマホは必要ないと思います。）

子どもたちはスマートフォンを買ってほしいので、「持っていないと仲間はずれになる。」などと、いろいろなことを言います。「買わない」と言ったら、子どもは不機嫌になるかもしれませんが、それくらいでひるんではいられません。



「試験で〇点以上とったらスマホ買ってあげる」と、親の方から学習させるためのエサにする話を聞きます。子どもはスマホを手にするまで短期的には学習を頑張るけれども、いざ買ってもらったならスマホに夢中になって成績はガタ落ち、そしてSNSでトラブルになるというのがよくある話です。

今後、お子様が「スマホがほしい」と言ったときには、その目的をよく話し合うことが大切です。納得がいけば、購入を検討して良いかもしれません。ただ、スマホは子どもにとって、とても魅力的で、自分の力で制限するのは難しいものです。今後、中学や高校での購入も含めて、購入前にスマホに関しての家庭での約束（前述の「約束を破ったときの約束」も含めて）を決めておくことをお勧めします。

スマホの使用に限りませんが「**だめなものはだめ**」「**我が家ではこうする**」と、**保護者として毅然とした態度**でいることが求められているように思います。